

国指定重要文化財農家における移築について

Study on the removing and reconstruction of the important cultural property folk houses

平山 育男
HIRAYAMA Ikuo

キーワード：移築、農家

Keywords：removing and reconstruction, folk house

The removing and reconstruction of the important cultural property folk house was common. It is not a special example in Japan, Tokyo and Kanagawa pref.

1 はじめに

これまでに、東京都と神奈川県の全域¹及び全国²において、農家を中心とする民家の移築について考察を行っている。ところで、民家や農家の移築について考えた当初、資料の調べている国指定重要文化財（以下「国指定重文」と記載する）を真っ先に当たろうと思い、実際、資料も揃えた。しかし、国指定重文は、“規模・古さ・保存程度などの点ですぐれるものを選んで”³調査のなされる傾向が顕著にあり、これらは限られた条件の下で選ばれた資料とすべきで、扱いには注意を要すると考えた。そのため東京都・神奈川県における悉皆的な民家調査、全国の民家調査に基づく考察結果を得た後、これらと比較が出来る段階をもって、国指定重文民家における移築の考察を試みることとした。

既往の研究では国指定重文の移築について、大森潤が民家を含めたすべての移築を挙げる⁴が、少なくとも民家の一部には遺漏が見られる。また、李明善は国指定重文において移築民家の割合は40%とする⁵ものの、後述のように数字の正確性には問題がある。

本稿では、国指定重文の民家について移築の様子を示し、この中で主に農家について移築の諸相を見るものである。ここでは先ず移築例を挙げ、その内容を明らかとし、全ての国指定重文農家に対する割合を示す。ついで各移築例について移築の年代、距離など、移築の諸相を明かした上で、それらが東京都・神奈川県の両都県および全国において見られたものと差異があるのか、考察を試みるものである。

2 国指定重文民家における移築例

国指定重文民家における移築及び保存移築の実態は表1に示した通りである。このうち移築は、以下の17例が挙げられる。ここでは修理工事報告書などを中心に用い、各住宅主屋について移築の実態を述べる。なお、これらの内容を表2にまとめた。

1) 旧下ヨイチ家住宅⁶ 北海道余市町入舟町10

旧下ヨイチ家住宅は旧松前藩が設けた運上家として唯一残るもので、嘉永6（1863）年の建築である。明治20（1887）年前後に、それまで北向きであった建物を東向きに改めたとする。

2) 石場家住宅⁷ 弘前市大字亀甲町88

石場家住宅は、弘前城の北門に当たる亀甲門近くに位置する町家で、18世紀前半頃の建築とされる。建物には柱、大引などの部材に2種類の番付があり、大引には現在東に当たる位置に北、東に当たる位置に南と記される。回転では敷地に納まらず、各年代の絵図から判断すると文化3（1806）年以後の19世紀初期頃に移築されたものと考えられる。

3) 黄林閣⁸ 埼玉県所沢市大字坂ノ下437

黄林閣はかつて現在地から9km程南になる東京都東久留米市柳窪に所在した大庄屋村野家の主屋と長屋門などを、昭和5（1930）年、電力王といわれた松永安左エ門が別荘とするため譲り受けて移築したものである。主屋は天保15（1844）年の建築である。

4) 旧佐々木家住宅⁹ 旧所在地：長野県佐久穂町畑482

佐々木家はもともと長野県佐久穂町に位置した住宅で、昭和42（1967）年、川崎市の日本民家園へ保存移築された。建築はもともと享保17（1732）年のものとされ、寛保3（1743）年に千曲川の洪水を避ける目的で移築が行われた。なお、移築については普請帳が現存するものの、建物から解体番付の類は一切発見されなかったという。

5) 羽馬家住宅¹⁰ 富山県南砺市田向254

羽馬家住宅は17世紀末頃の建築と考えられる。羽馬家の所在する田向は明和6（1769）年4月、大火に襲われ、部落の多くの建物は他から移築したものが多くとされ、この住宅もその際、約4km下流の大島部落から移築されたものと伝承される。解体工事に際して壁貫などの部材からは手斧ではつった部分に番付が見いだされ、これが移築に際してのものだと判断されている。

6) 佐伯家住宅¹¹ 富山県高岡市福岡町箕島495

佐伯家住宅は高岡市福岡町箕島に所在する。この住宅は、明和4～5（1767～68）年にかけて小矢部川の約15km上流に当たる旧川崎村に所在した十村、三之助所有の住宅を買って取り、後により曳いて移築したものであることが、普請帳の記載から明らかとなる。

7) 喜多家住宅¹² 石川県野々市町本町3-8-11

喜多家は幕末以後、醸造業を営んだが、明治24（1891）年の大火で建物の多くを失い、金沢市材木町、田井屋の住宅を移築したと伝える。主屋は19世紀中頃の建築と推定されている。

8) 堀口家住宅¹³ 福井県池田町稲荷32-17

堀口家は近世において庄屋を務め、須波阿須疑神社の十二軒衆にも数えられた。主屋の建築は18世紀初期頃と推定されるが、18世紀前半頃、1km程西に当たる寺谷の地から移築したとの伝承がある。なお、解体修理においては柱、框などからは部材を手斧で削った上に記入された解体番付が発見され、移築の伝承が裏付けられた。

9) 堀内家住宅¹⁴ 長野県塩尻市堀ノ内117

堀内家は中山道、堀ノ内に所在する旧家で、近世に名主も一時務めている。主屋はいわゆる本棟造の形式を有するもので、19世紀初期の建築と考えられるが、近隣の下中条に所在した川上家の新宅を移築したとの伝承がある。これが川上家から養子を迎えた時期とすれば19世紀初期の移築となる。

10) 旧田中家住宅¹⁵ 旧所在地：岐阜県高山市冬頭町982

田中家初代は薬種商を営んだ。件の住宅はもともと「田舎」と称され、持高地の管理などを行った建物として北方1km程の中切村に作られたもので、18世紀初め頃の建築と推定される。これを三男の国学者田中大秀が庶子の住まいとして冬頭町へ19世紀初め頃移築したとされるが、修理工事に際して礎石や軸部から解体番付が発見された。なお、この住宅は現在、飛

表 1 国指定重要文化財民家の移築と保存移築

都道府県名	市町村名	住宅名	農家 / 町家	現地 / 保存移築	移築	備考	
北海道	伊達市	旧三戸部家住宅	農家	保存移築	×		
	上ノ国町	旧笹浪家住宅	農家	現地	×		
	余市町	旧下ヨイチ運上屋	農家	現地	移築	向きを変えた	
	小平町	旧花田家番屋	農家	現地	×		
青森	函館市	太刀川家住宅店舗	町家	現地	×		
	江差町	旧中村家住宅	町家	現地	×		
	五所川原市	旧平山家住宅	農家	現地	×		
	十和田湖町	旧笠石家住宅	農家	現地	×		
	五戸町	旧渡家住宅	農家	現地	×		
	弘前市	石場家住宅	町家	現地	移築		
岩手	黒石市	高橋家住宅	町家	現地	×		
	盛岡市	旧藤野家住宅	農家	保存移築	×		
	盛岡市	旧佐々木家住宅	農家	保存移築	×		
	北上市	旧菅野家住宅	農家	保存移築	×		
	北上市	旧多間院伊澤家住宅	農家	現地	×		
	遠野市	旧菊地家住宅	農家	保存移築	×		
	江刺市	旧後藤家住宅	農家	保存移築	×		
	東和町	旧小原家住宅	農家	保存移築	×		
	東和町	伊藤家住宅	農家	現地	×		
	盛岡市	旧中村家住宅	町家	保存移築	×		
宮城	名取市	洞口家住宅	農家	現地	×		
	名取市	旧中澤家住宅	農家	保存移築	×		
	角田市	旧佐藤家住宅	農家	保存移築	×		
	蔵王町	我妻家住宅	農家	現地	×		
	小野田町	松本家住宅	農家	現地	×		
	秋田	秋田市	旧奈良家住宅	農家	現地	×	
秋田市		嵯峨家住宅	農家	現地	×		
秋田市		旧黒澤家住宅	農家	保存移築	×		
八竜町		大山家住宅	農家	現地	×		
矢島町		土田家住宅	農家	現地	×		
田沢湖町		草●家住宅	農家	現地	×		
羽後町		鈴木家住宅	農家	現地	×		
山形		鶴岡市	旧渋谷家住宅	農家	保存移築	×	
		新庄市	旧矢作家住宅	農家	保存移築	×	
		上山町	旧尾形家住宅	農家	現地	×	
	朝日町	佐竹家住宅	農家	現地	×		
	最上町	旧有路家住宅	農家	現地	×		
	福島	会津若松市	旧滝沢本陣横山家住宅	農家	現地	×	
原町市		旧武山家住宅	農家	現地	×		
只見町		旧五十嵐家住宅	農家	保存移築	×		
猪苗代町		旧馬場家住宅	農家	保存移築	×		
会津坂下町		旧五十嵐家住宅	農家	保存移築	×		
三春町		中山家住宅	農家	現地	×		
古河市		旧飛田家住宅	農家	保存移築	×		
茨城	水海道市	坂野家住宅	農家	現地	×		
	つくば市	大塚家住宅	農家	現地	×		
	内原町	中崎家住宅	農家	現地	×		
	岩間町	塙家住宅	農家	現地	×		
	神栖町	山本家住宅	農家	現地	×		
	新利根町	平井家住宅	農家	現地	×		
	霞ヶ浦町	椎名家住宅	農家	現地	×		
	栃木	矢板市	荒井家住宅	農家	現地	×	
		河内町	岡本家住宅	農家	現地	×	
		茂木町	旧羽石家住宅	農家	保存移築	×	
市貝町		入野家住宅	農家	現地	×		
那須町		三森家住宅	農家	現地	×		
群馬		桐生市	彦部家住宅	農家	現地	×	
	宮城村	阿久沢家住宅	農家	現地	×		
	上野村	旧黒澤家住宅	農家	現地	×		
	中之条町	旧富澤家住宅	農家	現地	×		
	水上町	旧戸部家住宅	農家	保存移築	×		
	沼田市	旧生方家住宅	町家	保存移築	×		
	富岡市	旧茂木家住宅	町家	保存移築	×		
	埼玉	秩父市	内田家住宅	農家	現地	×	
		所沢市	小野家住宅	農家	現地	×	
		所沢市	黄林閣 (旧村野家住宅)	農家	現地	移築	昭和 5 (1930) 年
日高町		高麗家住宅	農家	現地	×		
小川町		吉田家住宅	農家	現地	×		
長瀬町		旧新井家住宅	農家	保存移築	×		
江南町		平山家住宅	農家	現地	×		
朝霞市		旧高橋家住宅	農家	現地	×		
川越市		大沢家住宅	町家	現地	×		
千葉		野田市	旧花野井家住宅	農家	保存移築	×	
	成田市	旧御子神家住宅	農家	保存移築	×		
	白井町	滝田家住宅	農家	現地	×		
	丸山町	旧尾形家住宅	農家	保存移築	×		
	大多喜町	渡辺家住宅	町家	現地	×		
	世田谷区	大塚家住宅	農家	現地	×		
東京	青梅市	旧宮崎家住宅	農家	保存移築	×		
	町田市	旧永井家住宅	農家	保存移築	×		
	檜原村	小林家住宅	農家	現地	×		
	神奈川	横浜市	旧矢筈原家住宅	農家	保存移築	×	
横浜市		関家住宅	農家	現地	×		
川崎市		旧伊藤家住宅	農家	保存移築	×		

	川崎市	旧北村家住宅	農家	保存移築	×	
	川崎市	旧佐々木家住宅	農家	保存移築	移築	
	川崎市	旧太田家住宅	農家	保存移築	×	
	川崎市	旧江向家住宅	農家	保存移築	×	
	川崎市	旧工藤家住宅	農家	保存移築	×	
	川崎市	旧作田家住宅	農家	保存移築	×	
	鎌倉市	旧石井家住宅	農家	保存移築	×	
	藤野町	石井家住宅	農家	現地	×	
新潟	新発田市	旧新発田藩足輕長屋	農家 / 武家	現地	×	
	村上市	若林家住宅	農家	現地	×	
	糸魚川市	山口家住宅	農家	現地	×	
	味方村	旧笹川家住宅	農家	現地	×	
	鹿瀬町	五十嵐家住宅	農家	現地	×	
	越路町	旧長谷川家住宅	農家	現地	×	
	守門村	旧目黒家住宅	農家	現地	×	
	守門村	佐藤家住宅	農家	現地	×	
	金井町	北条家住宅	農家	現地	×	
	川西町	星名家住宅	町家	現地	×	
	関川村	渡辺家住宅	町家	現地	×	
	関川村	佐藤家住宅	町家	現地	×	
富山	富山市	旧浮田家住宅	農家	現地	×	
	高岡市	旧武田家住宅	農家	現地	×	
	立山町	旧嶋家住宅	農家	保存移築	×	
	平村	村上家住宅	農家	現地	×	
	平村	羽場家住宅	農家	現地	移築	
	上平村	岩瀬家住宅	農家	現地	×	
	福岡町	佐伯家住宅	農家	現地	移築	
	富山市	旧森家住宅	町家	現地	×	
	高岡市	菅野家住宅	町家	現地	×	
石川	輪島市	時国家住宅	農家	現地	×	
	珠洲市	黒丸家住宅	農家	現地	×	
	白峰村	旧小倉家住宅	農家	保存移築	×	
	押水町	喜多家住宅	農家	現地	×	
	中島町	座主家住宅	農家	現地	×	
	金沢市	旧松下家住宅	町家	保存移築	×	
	金沢市	旧鱒波本陣旧石倉家住宅	町家	保存移築	×	
	野々市町	喜多家住宅	町家	現地	移築	明治 24 (1881) 年
	金沢市	志摩	町家	現地	×	
福井	武生市	旧谷口家住宅	農家	保存移築	×	
	大野市	旧橋本家住宅	農家	保存移築	×	
	鯖江市	旧瓜生家住宅	農家	保存移築	×	
	丸岡町	坪川家住宅	農家	現地	×	
	池田町	堀口家住宅	農家	現地	移築	18 世紀前半
	宮崎村	相本家住宅	農家	現地	×	
山梨	富士吉田市	小佐野家住宅	農家	現地	×	
	下部町	門西家住宅	農家	現地	×	
	塩山市	高野家住宅	農家	現地	×	
	甲西町	旧安藤家住宅	農家	現地	×	
	明野村	八代家住宅	農家	現地	×	
	古淵沢町	旧平田家住宅	農家	保存移築	×	
	大月市	星野家住宅	町家	現地	×	
長野	長野市	旧横田家住宅	農家	現地	×	
	松本市	馬場家住宅	農家	現地	×	
	駒ヶ根市	旧竹村家住宅	農家	保存移築	×	
	塩尻市	堀内家住宅	農家	現地	移築	19 世紀初期
	塩尻市	小松家住宅	農家	現地	×	
	塩尻市	嶋崎家住宅	農家	現地	×	
	東部町	春原家住宅	農家	現地	×	
	高森町	竹ノ内家住宅	農家	現地	×	
	大鹿村	松下家住宅	農家	現地	×	
	穂高町	曾根原家住宅	農家	現地	×	
	美麻村	旧中村家住宅	農家	現地	×	
	小諸市	旧小諸本陣	町家	現地	×	
	塩尻市	小野家住宅	町家	現地	×	
	望月町	真山家住宅	町家	現地	×	
	南木曾町	林家住宅	町家	現地	×	
岐阜	高山市	田中家住宅	農家	保存移築	移築	19 世紀
	高山市	旧田口家住宅	農家	保存移築	×	
	高山市	旧吉真家住宅	農家	保存移築	移築	安政頃
	高山市	旧若山家住宅	農家	保存移築	×	
	上石津町	桑原家住宅	農家	現地	×	
	大野町	牧村家住宅	農家	現地	×	
	下呂町	旧大戸家住宅	農家	保存移築	×	
	丹生川村	旧荒川家住宅	農家	現地	×	
	白川村	旧遠山家住宅	農家	現地	×	
	白川村	和田家住宅	農家	現地	×	
	高山市	吉島家住宅	町家	現地	×	
	高山市	日下部家住宅	町家	現地	×	
	高山市	旧松本家住宅	町家	現地	×	
	美濃市	小坂家住宅	町家	現地	×	
	美濃加茂市	旧太田本陣林家住宅	町家	現地	×	
静岡	裾野市	旧植松家住宅	農家	保存移築	移築	正徳・享保
	相良町	大鐘家住宅	農家	現地	×	
	韮山町	江川家住宅	農家	現地	×	
	小笠町	黒田家住宅	農家	現地	×	
	森町	友田家住宅	農家	現地	移築	元禄
	権踏町	中村家住宅	農家	現地	×	

愛知	新城市	望月家住宅	農家	現地	×	
	弥富町	服部家住宅	農家	現地	×	
	豊根村	熊谷家住宅	農家	現地	×	
	津島市	旧堀田家住宅	町家	現地	移築	昭和46(1971)年道路建設で
	犬山市	旧東松家住宅	町家	保存移築	×	
三重	上野市	町井家住宅	農家	現地	×	
滋賀	安土町	旧宮地家住宅	農家	保存移築	×	
	西浅井町	辻家住宅	農家	現地	移築	文政10(1827)年
	西浅井町	田中家住宅	農家	現地	×	
	栗東町	大角家住宅	町家	現地	×	
	近江八幡市	旧西川家住宅	町家	現地	×	古材
京都	舞鶴市	行永家住宅	農家	現地	×	
	綾部市	旧岡花家住宅	農家	保存移築	×	
	亀岡市	遠山家住宅	農家	現地	×	
	八幡市	伊佐家住宅	農家	現地	×	
	京田辺市	澤井家住宅	農家	現地	×	
	美山町	石田家住宅	農家	現地	×	
	美山町	小林家住宅	農家	現地	×	
	丹波町	渡邊家住宅	農家	現地	×	
	京都市	裏千家住宅	町家	現地	×	
	京都市	瀧沢家住宅	町家	現地	×	
	京都市	小川家住宅(二条陣屋)	町家	現地	×	
	京都市	角屋	町家	現地	×	
	京都市	冷泉家住宅	町家	現地	×	
	山城町	小林家住宅	農家	現地	×	
	宮津市	旧三上家住宅	町家	現地	×	
大阪	大阪市	奥田家住宅	農家	現地	×	
	堺市	高林家住宅	農家	現地	×	
	豊中市	旧泉家住宅	農家	保存移築	×	
	豊中市	旧山田家住宅	農家	保存移築	×	
	豊中市	旧椎葉家住宅	農家	保存移築	×	
	泉佐野市	奥家住宅	農家	現地	×	
	河内長野市	山本家住宅	農家	現地	×	
	河内長野市	左近家住宅	農家	現地	×	
	和泉市	高橋家住宅	農家	現地	×	
	羽曳野市	吉村家住宅	農家	現地	×	
	交野市	山添家住宅	農家	現地	×	
	交野市	北田家住宅	農家	現地	×	
	熊取町	降井家書院	農家	現地	曳家	明治末年
	熊取町	旧中家住宅	農家	現地	×	
	大阪市	旧緒方洪庵住宅	町家	現地	×	
	堺市	山口家住宅	町家	現地	×	
	富田林市	旧杉山家住宅	町家	現地	×	
	柏原市	三田家住宅	町家	現地	×	
兵庫	神戸市	箱木家住宅	農家	保存移築	×	
	揖保川町	旧永富家住宅	農家	現地	×	
	安富町	古井家住宅	農家	現地	×	
	山南町	旧友井家住宅	農家	保存移築	×	新築して贈られた
	伊丹市	旧岡田家住宅	町家	現地?	×	
奈良	大和郡山市	旧臼井家住宅	町家	保存移築	×	
	大和郡山市	旧岩本家住宅	農家	保存移築	×	
	橿原市	森村家住宅	農家	現地	×	
	月ヶ瀬村	菊家住宅	農家	現地	×	
	平群町	藤田家住宅	農家	現地	×	
	安堵町	中家住宅	農家	現地	×	
	大宇陀町	片岡家住宅	農家	現地	×	
	大宇陀町	笹岡家住宅	農家	現地	×	
	新庄町	村井家住宅	農家	現地	×	
	西吉野村	西田家住宅	農家	現地	×	
	西吉野村	堀家住宅	農家	現地	×	
	奈良市	藤岡家住宅	町家	現地	×	
	橿原市	今西家住宅	町家	現地	×	
	橿原市	高木家住宅	町家	現地	×	
	橿原市	旧米谷家住宅	町家	現地	×	
	橿原市	音村家住宅	町家	現地	×	
	橿原市	中橋家住宅	町家	現地	×	
	橿原市	豊田家住宅	町家	現地	×	
	橿原市	上田家住宅	町家	現地	×	
	橿原市	河合家住宅	町家	現地	×	
	五條市	栗山家住宅	町家	現地	×	
	御所市	中村家住宅	町家	現地	×	
和歌山	和歌山市	旧谷山家住宅	農家	保存移築	×	
	和歌山市	旧中筋家住宅	農家	現地	×	
	岩出町	増田家住宅	農家	現地	×	
	金屋町	鈴木家住宅	農家	現地	×	
	和歌山市	旧柳川家住宅	町家	保存移築	×	
	那賀町	旧名手本陣妹背家住宅	町家	現地	×	
鳥取	鳥取市	福田家住宅	農家	現地	×	
	八東町	矢部家住宅	農家	現地	×	
	大山町	門脇家住宅	農家	現地	×	
	米子市	後藤家住宅	町家	現地	×	
島根	吉田村	堀江家住宅	農家	現地	×	
	六日市町	旧道面家住宅	農家	現地	×	
	西郷町	玉若酢命神社家徳岐家住宅	農家	現地	×	ほぼ同規模の建物を転用
	西郷町	旧佐々木家住宅	農家	現地	×	
	宍道町	木橋家住宅	町家	現地	×	
	太田市	熊谷家住宅	町家	現地	×	

岡山	岡山市	旧犬養家住宅	農家	現地	×		
	富村	旧森江家住宅	農家	保存移築	×		
	東粟倉村	林家住宅	農家	現地	×		
	倉敷市	旧大原家住宅	町家	現地	×		
	倉敷市	大橋家住宅	町家	現地	×		
	矢掛町	旧矢掛本陣石井家住宅	町家	現地	×		
	矢掛町	旧矢掛本陣高草家住宅	町家	現地	×		
広島県	倉敷市	井上家住宅	町家	現地	×		
	三次市	旧真野家住宅	農家	保存移築	×		
	宮島町	林家住宅	農家	現地	×		
	向島町	吉原家住宅	農家	現地	×		
	吉舎町	奥家住宅	農家	現地	×		
	三良坂町	楠山家住宅	農家	保存移築	×		
	高野町	堀江家住宅	農家	現地	×		
	比和町	荒木家住宅	農家	現地	×		
	竹原市	春風館頼家住宅	町家	現地	×		
	竹原市	復古館頼家住宅	町家	現地	×		
	福山市	太田家住宅	町家	現地	×		
	福山市	太田家住宅朝宗亭	町家	現地	×		
	東広島市	旧木原家住宅	町家	現地	×		
山口県	萩市	口羽家住宅	農家 / 武家	現地	×		
	岩国市	旧日加田家住宅	農家	現地	×		
	長門市	早川家住宅	農家	現地	×		
	福栄村	森田家住宅	農家	現地	×		
	萩市	菊屋家住宅	町家	現地	×		
	萩市	熊谷家住宅	町家	現地	×		
	柳井市	国森家住宅	町家	現地	×		
	徳島県	鳴門市	福永家住宅	農家	現地	×	
		石井町	田中家住宅	農家	現地	×	
		上勝町	田中家住宅	農家	現地	×	
神山町		粟飯原家住宅	農家	現地	×		
木屋平村		三木家住宅	農家	現地	×		
脇町		旧長岡家住宅	農家	保存移築	×		
東祖谷山村		旧小采家住宅	農家	保存移築	×		
香川	東祖谷山村	木村家住宅	農家	現地	×	古材を用いて改築	
	高松市	旧下木家住宅	農家	保存移築	×		
	高松市	旧河野家住宅	農家	保存移築	×		
	高松市	小比賀家住宅	農家	現地	×		
	大川町	旧恵利家住宅	農家	保存移築	×		
	長尾町	細川家住宅	農家	現地	×		
	愛媛	松山市	豊島家住宅	農家	現地	×	
川之江市		真鍋家住宅	農家	現地	×		
松山市		渡部家住宅	農家	現地	×		
美川村		旧山中家住宅	農家	保存移築	×		
内子町		上芳我家住宅	町家	現地	×		
内子町		本芳我家住宅	町家	現地	×		
内子町		大村家住宅	町家	現地	×		
高知		高知市	旧関川家住宅	農家	現地	×	
		本川村	山中家住宅	農家	現地	×	
		大正町	旧竹内家住宅	農家	保存移築	×	
	土佐清水市	吉福家住宅	近代和風	現地	×		
福岡	新宮町	横大路家住宅	農家	現地	×		
	浮羽町	平川家住宅	農家	現地	×		
	添田町	旧数山家住宅	農家	現地	×		
	犀川町	永沼家住宅	農家	現地	×		
	立花町	松延家住宅	町家	現地	×		
	添田町	中島家住宅	町家	現地	×		
	大川市	旧吉原家住宅	農家	現地	×		
	佐賀	多久市	旧川打家住宅	農家	保存移築	×	
川副町		山口家住宅	農家	現地	×		
富士町		吉村家住宅	農家	現地	×		
大町町		土井家住宅	町家	現地	×	古材多い	
長崎	塩田町	西岡家住宅	町家	現地	×		
	長崎市	旧本田家住宅	農家	現地	×		
	厳原町	主藤家住宅	農家	現地	×		
熊本	玉東町	旧境家住宅	農家	保存移築	×		
	錦町	桑原家住宅	農家	現地	×		
	多良木町	旧太田家住宅	農家	現地	×		
大分	日田市	行徳家住宅	農家	現地	×		
	野津原町	後藤家住宅	農家	現地	×		
	大山町	旧矢羽田家住宅	農家	保存移築	×		
	山国町	神尾家住宅	農家	現地	×		
宮崎	宮崎市	旧黒木家住宅	農家	保存移築	×		
	宮崎市	旧藤田家住宅	農家	保存移築	移築		
	椎葉村	那須家住宅	農家	現地	×		
鹿児島	大口市	祁答院家住宅	農家	現地	×		
	高山町	二階堂家住宅	農家	保存移築	×		
	中種子町	古市家住宅	農家	現地	×		
	名瀬市	泉家住宅	農家	現地	×		
沖縄	石垣市	旧宮良殿内	農家	現地	×		
	北中城村	中村家住宅	農家	現地	×		
	具志川村	上江洲家住宅	農家	現地	×		
	座間味村	高良家住宅	農家	現地	×		
	伊是名村	銘刈家住宅	農家	現地	×		
	那覇市	新垣家住宅	町家	現地	×		

表2 国指定受容文化財民家の移築

番号	現在所在の都道府県	住宅名	生業	建築年	指定年	移築の「時期」	移築までの「期間」	移築までの「期間」	移築前の所在地	移築後の所在地	移築の移動「距離」	移動の備考	移築の「理由」
1	北海道	旧下ヨイチ運上家	漁家	嘉永 6	1853	昭和 46	1971	明治 24 頃	1891	38 余市町入舟町 10	東向きに回転	0	-
	青森県	石場家住宅	商家	18 世紀前半		昭和 48	1973	19 世紀初		80 不詳	弘前市	-	-
2	埼玉県	黄林閣	農家	天保 15	1844	昭和 53	1978	昭和 5	1930	86 東久留米市柳窪	所沢市坂ノ下	9	譲り受け
3	神奈川県	旧佐々木家住宅	農家	享保 17	1732	昭和 42	1967	寛保 3	1743	11 河原の方	佐久穂町畑 862	1	洪水を避けて
4	富山県	羽馬家住宅	農家	17 世紀末		昭和 33	1958	明和 6?	1769	79 大島部落?	平村	4	下流より 火事?
5	富山県	佐伯家住宅	農家	不詳	-	昭和 46	1971	明和 5	1768	- 川崎村	福岡町	15	-
	石川県	喜多家住宅	商家	19 世紀中期		昭和 46	1971	明治 24	1891	41 金沢材木町	野々市町	6	火事
6	福井県	堀口家住宅	農家	18 世紀初		昭和 44	1969	18 世紀前半		20 寺谷	池田町稲荷	1	-
7	長野県	堀内家住宅	農家	19 世紀初		昭和 48	1973	19 世紀初		0 下西条	塩尻市堀ノ内	3	養子
8	岐阜県	旧田中家住宅	農家	18 世紀初		昭和 52	1977	19 世紀初		100 中切村	高山市冬頭町	1	庶子を住まわす
9	岐阜県	旧吉真家住宅	農家	18 世紀前半		昭和 52	1977	安政頃		120 河合村角川	河合村元田	13	上流より -
10	静岡県	旧植松家住宅	農家	18 世紀前半		昭和 48	1973	正徳・享保頃		0 石脇	裾野市石脇	0.8	洪水・噴火?
11	静岡県	友田家住宅	農家	17 世紀末		昭和 48	1973	元禄 13	1700	10 南隣接地	森町	1	-
	愛知県	旧堀田家住宅	商家	18 世紀後半		昭和 53	1978	昭和 46	1971	201 津島市	津島市	0.06	都市計画道路建設
12	滋賀県	辻家住宅	農家	不詳	-	昭和 43	1968	文政 8	1825	- 高月町柳野中	西浅井村祝山	8	-
13	大阪府	降井家書院	農家	江戸時代初期		昭和 27	1952	明治 44	1911	273 敷地内	敷地内	0.02	増改築
14	宮崎県	旧藤田家住宅	農家	不詳	-	昭和 48	1973	18 世紀後半		- 不詳	五ヶ瀬町	-	-
			平均							75.64		4.19	

驛民俗村へ保存移築を受けている。

11) 旧吉真家住宅¹⁶ 旧所在地：岐阜県飛騨市河合町角川
旧吉真家住宅はもともと 18 世紀前半の建築と推定されるが、安政期頃、小鳥川の支流である元田から移築したと伝承される。なお、この住宅も飛騨民俗村へ現在、保存移築がなされている。

12) 旧植松家住宅¹⁷ 旧所在地：静岡県裾野市石脇 328
植松家は鎌倉時代、尾張から石脇の地に住み着いた草分け七家の一つとされ、名主を務めた。主屋は 18 世紀前半の建築と考えられる。当地は宝永年間に洪水と富士山噴火の災害を受けたが、当時の絵図を比較すると植松家の位置が異なることから、当住宅は正徳から享保年間に移築を受けたものと推定されている。なお、この住宅は現在、五竜の滝公園に保存移築されている。

13) 友田家住宅¹⁸ 静岡県森町西亀久保 336
友田家は近世に庄屋を務め、住宅は 18 世紀初期をくだらない頃の建築と考えられている。元禄 13（1700）年に、南隣の土地から移築したとの伝承がある。なお、修理工事報告書では、建物の痕跡などを考察し、元禄期において何らかの災害に遭遇したため、前身建物の部材を一部再利用し、小屋組を強固に組んで、現在地に旧規とほぼ同じ大きさの建物を建てたのではないかと推測している。

14) 堀田家住宅¹⁹ 愛知県津島市欄宜町 69
堀田家は、古くは津島神社の神官を務め、酒造業などを営んだ。主屋は正徳年間の建築で数次の改造・修理を受けているが、昭和 46（1971）年、都市計画道路建設のため、60m 程曳屋により移築を受けた。

15) 辻家住宅²⁰ 滋賀県西浅井町祝山 282
辻家は近世において庄屋を代々務めた家である。主屋は表門などの修理工事に際して発見された文書より、文政 8(1825) 年に高月町の治左衛門から移築したものであることが判明した。なお、当初の建築年は不詳である。

16) 降井家住宅書院²¹ 大阪府熊取町大久保 1
降井家は当該地方において古くからの豪族とされる。書院は形式技法などから江戸時代初期の建築とされるが、明治 44（1911）年に行われた主屋の改造に伴い、書院を現在の位置に移動させたという。図面から判断すると移動距離は 20 m 程である。

17) 旧藤田家住宅²² 旧所在地：宮崎県五ヶ瀬町三ヶ所 953
旧藤田家住宅は周囲を山に囲まれた五ヶ瀬町に所在したが、現在は宮崎県立博物館へ保存移築を受けている。修理工事報告書では、主屋に残された創建直後の増築、柱に刻まれた天明 7（1787）年の刻銘、建物配置などから天明 7（1787）年の移築を推察している。なお、建物の当初の建立年、当初の建築場所は不明である。

3 国指定重要文化財民家における移築の諸相
国指定重文民家における移築の実態は以上の通りであるが、移築の割合、移築の行われた「年代」、移築の移動「距離」、移築の「理由」、当初の建築から移築までの「期間」などの諸相について、東京都及び神奈川県もしくは全国の事例と比較しながら考察してみたい。

1) 移築の割合
表 3 に国指定重文民家の数、移築民家の数、国指定重文農家の数、移築農家の数、国指定重文町家などの数、移築町家などの数について都道府県毎に合計を挙げ、各々について割合を求めた。

これによれば全国においては 343 棟の国指定重文民家があり、この内前述したように 17 棟が移築を受けた民家となり、その割合は 5% である。更に国指定重文民家の内、農家の数は 260 棟で、移築を受けた農家は 14 棟、割合は 5%、国指定重文のうち町家等の数は 82 棟で、移築された町家等は 3 棟、割合は 4% となる。

東京都及び神奈川県における移築を受けた農家の割合は 13

%であった²³。一方、全国における移築を受けた農家の割合は7%程と求めている²⁴が、これは国指定重文農家における移築を受けたものの割合である5%と大差があるとは言えない。この点は、全国における移築の割合を算出するに用いた、昭和40（1965）年代を中心に行われた全国規模の民家緊急調査が、“すぐれた家を基準に”²⁵実施されたものであり、更に国指定重文民家の指定がこれらの調査結果を踏まえて行われた結果と言えよう²⁶。

2) 移築の「年代」

国指定重文民家における移築の年代は、18世紀までが17例中7例、41%、国指定重文農家に限ると14例中7例で50%と極めて高い割合を示す。

東京都及び神奈川県では、18世紀までが220例中2例で1%、全国でも18世紀までにおける移築が123例中12例、10%に過ぎなかったのに比べると顕著な相違である。これは、国指定重文候補の抽出も目的に実施された緊急民家調査が、“年代の古い家”²⁷をその調査対象としたことが、このような結果を導いたのであろう。その意味で、このような傾向は国指定重文民家の特色と言えるであろう。

3) 移築の移動「距離」

国指定重文民家における移築の移動「距離」は、東京都・神奈川県および全国と同様に各々の移築民家については「移築前の所在地」と「移築後の所在地」を示して両者の直線距離を計測し、小数点以下を四捨五入し移動の「距離」の欄に示した。

その結果、国指定重文における移築民家全体の平均移動「距離」は4.2km、農家に限ると4.4kmであった。東京都と神奈川県全体の平均移動「距離」は4.4km²⁸、全国において海上輸送を除いた平均移動「距離」は5.3km²⁹であり、いずれとも大差があるとは言えない。

両都県における考察でこの範囲における移築の多いのは、移築の目的を安価な住宅の迅速な供給という側面に置けば、移動距離が短い方が経済的に有利なためであり、戦前期以前における移築では材の移動が荷車や牛車に限られ、1日に数回の往復も確認されたこともその理由として挙げられた。

これらの背景を考えると、国指定重文の民家移築においても、両都県及び全国の考察から導かれたのと同様、移築の「距離」は徒歩1時間内外の時間で移動可能な圏内からのものが平均的であったとすることができよう。

4) 移築の「理由」

国指定重文民家移築の「理由」は17例中過半の9例が明らかとなり、内訳は4例が「火事・災害」によるもので、3例が「購入等」、1例が「社会的整備」、1例が増改築に伴う「内的要因」となる。農家に限ると14例中7例の理由が判明し、3例が「火事・災害」、3例が「購入等」、1例が増改築に伴う「内的要因」となる。

東京都・神奈川県の例では「火事・災害」が39%、「購入等」が30%、「社会的整備」が21%で、全国では「火事・災害」が38%、「購入等」が50%、「社会的整備」が4%であり、両都県では「社会的整備」の割合が比較的多く³⁰、全国では「購入等」の割合が高い傾向にあった³¹。これらと比較すると国指定重文では「購入等」の数が多く、全国の傾向に近いと言えよう。

5) 移築までの「期間」

国指定重文民家移築の年代から当初の建築年代を引いた年数である移築までの「期間」については、それが具体的に判明するものは少なく、東京都と神奈川県及び全国と同様、移築の「年代」から建築の創建年代を差し引いた数値を求めこれを移築までの「期間」として求めた。

14例において移築までの「期間」が判明し、これらを平均

すると全体では76年、農家に限れば平均67年の値を得ることができる。

移築までの「期間」は東京都・神奈川県の場合は平均77年³²、全国では平均78年³³であり、民家全体の値は両者に近似し、農家に限るとやや短い値となるものの、前者に準じた値と見なして差し支えはないだろう。

4 国指定重要文化財民家における移築の性格

国指定重文民家における移築の実際を示し、これらを元に、移築の割合、移築の「年代」、移築の移動「距離」、移築の「理由」、移築までの「期間」について考察を加えた。これらによれば、国指定重文民家の移築において移築の割合は全国の平均に準じ、移動「距離」は全国及び東京都・神奈川県の場合とほとんど変わらなかった。移築の「理由」もその傾向は全国のものに類似し、移築までの「期間」はやや短いものの全国及び東京都・神奈川県の数字に準じた。但し、移築の「年代」は18世紀までのものが極端に多く見られた。これらは国指定重文民家が建築年代の古いものを中心に調査があり、その結果として指定を受けたことによるものと考えられた。

このように見てくると、国指定重文民家における移築の諸性格は、移築の「年代」のみが国指定重文として指定に関わる理由から、両都県及び全国の調査に基づくものよりは各段に古い年代のものが多く、その他の諸要素については同様の傾向を示すことが判明した。

5 小結

以上の考察より、国指定重文民家に見られる移築は必ずしも特殊な事例ではなく、全国及び両都県と共通した様相をよく示すものと見ることができよう。

注 記

¹ ①平山：東京都と神奈川県における農家の移築棟数と地域性について、日本建築学会計画系論文集592,209-215頁、平成17（2005）.6

②平山：東京都と神奈川県の移築民家における移築の理由、移築の移動距離、移築の行われた時代とその相互関係、日本建築学会計画系論文集604,145-150頁、平成19（2007）.1

² ①平山：全国における農家の移築棟数と地域性について、日本建築学会計画系論文集611,189-194頁、平成18（2006）.6

②平山：全国の移築民家における移築の行われた時代、移築の理由、移築の移動距離、移築までの期間とその相互関係、日本建築学会計画系論文集622,187-192頁、平成19（2007）.12

³ 東京都教育委員会：東京都文化財調査報告書4、小内文化財総合調査報告1、100頁、昭和32（1957）.3。なお、この後に続けられた一連の調査はいずれもこの方針に則って調査対象の住宅が選定された。

⁴ 大林潤：重要文化財における移築とその理由、建築の移築に関する研究（代表研究者：藤井恵介）2002（平成14）年度～2004（平成16）年度科学研究費補助金 基盤研究（B）（2）研究成果報告書、201～219頁、平成17（2005）.3

⁵ 李明善：歴史的建造物の保存方法としての移築＝民家を中心に 建築の移築に関する研究（その9）、日本建築学会大会学術講演梗概集（関東）F-2、425～426頁、平成13（2001）.9

⁶ 財団法人文化財建造物保存技術協会：重要文化財 旧下ヨイチ運上家保存修理工事報告書、昭和55（1980）.3

⁷ 財団法人文化財建造物保存技術協会：重要文化財 石場家住

表3 国指定重要文化財民家における都道府県別移築数とその割合

都道府県名	国指定重文民家		国指定重文農家		国指定重文町家ほか	
	総数：A [棟]	移築数：B [棟]	総数：C [棟]	移築数：D [棟]	総数：E [棟]	移築数：F [棟]
北海道	6	1	4	1	2	0
青森	5	1	3	0	2	1
岩手	9	0	8	0	1	0
秋田	7	0	7	0	0	0
宮城	5	0	5	0	0	0
山形	5	0	5	0	0	0
福島	6	0	6	0	0	0
茨城	8	0	8	0	0	0
栃木	5	0	5	0	0	0
群馬	7	0	5	0	2	0
埼玉	9	1	8	1	1	0
千葉	5	0	4	0	1	0
東京	4	0	4	0	0	0
神奈川	11	1	11	1	0	0
新潟	12	0	8	0	4	0
富山	9	2	7	2	2	0
石川	9	1	5	0	4	1
福井	6	1	6	1	0	0
山梨	7	0	6	0	1	0
長野	15	1	11	1	4	0
岐阜	15	2	10	2	5	0
静岡	6	2	6	2	0	0
愛知	5	1	3	0	2	1
三重	1	0	1	0	0	0
滋賀	5	1	3	1	2	0
京都	15	0	9	0	6	0
大阪	18	1	14	1	4	0
兵庫	5	0	4	0	1	0
奈良	22	0	11	0	11	0
和歌山	6	0	4	0	2	0
鳥取	4	0	3	0	1	0
島根	6	0	4	0	1	0
岡山	8	0	3	0	5	0
広島	12	0	7	0	5	0
山口	7	0	3	0	4	0
徳島	8	0	8	0	0	0
香川	5	0	5	0	0	0
愛媛	7	0	4	0	3	0
高知	4	0	3	0	1	0
福岡	7	0	5	0	2	0
佐賀	5	0	3	0	2	0
長崎	2	0	2	0	0	0
熊本	3	0	3	0	0	0
大分	4	0	4	0	0	0
宮崎	3	1	3	1	0	0
鹿児島	4	0	4	0	0	0
沖縄	6	0	5	0	1	0
合計	343	17	260	14	82	3
割合 [%]	B/A × 100=	4.96	D/C × 100=	5.38	F/E × 100=	3.66

- 宅保存修理工事報告書、昭和 57（1982）.3
- ⁸ ①「重要文化財」編纂委員会：解説版新指定重要文化財 12 建造物Ⅱ、昭和 57（1982）.2、毎日新聞社
- ②東久留米市教育委員会：東久留米市文化財資料集（5）民家編、昭和 52（1977）.3
- ⁹ ①吉田靖：長野県佐久郡八千穂村の民家について、日本建築学会論文報告集 71、58～63 頁、昭和 37（1962）.4
- ②長野県教育委員会：八千穂の民家 長野県民俗資料調査報告 4、昭和 38（1963）.3
- ③宮沢智士：民家における書院的座敷の成立時期の一例、日本建築学会論文報告集 95、27～32 頁、昭和 39（1964）.2
- ④川崎市：重要文化財旧佐々木家住宅移築修理工事報告書、昭和 40（1965）.3
- ⑤長野県：長野県史美術建築資料編 全 1 卷（二）建築、平成 2（1990）.3
- ¹⁰ 重要文化財羽馬家住宅修理委員会：重要文化財羽馬家住宅修理工事報告書、昭和 38（1963）.12
- ¹¹ ①宮沢智士：富山県一農家（佐伯家）の明和年間の家作とその文書、日本建築学会論文集 193、69～73 頁、昭和 47（1972）.3
- ②財団法人文化財建造物保存技術協会：重要文化財佐伯家住宅修理工事報告書、昭和 48（1973）.9
- ¹² 「重要文化財」編纂委員会：解説版新指定重要文化財 12 建造物Ⅱ、前掲
- ¹³ 財団法人文化財建造物保存技術協会：重要文化財堀口家住宅修理工事報告書、昭和 47（1972）.9
- ¹⁴ ①「重要文化財」編纂委員会：解説版新指定重要文化財 12 建造物Ⅱ、前掲
- ②長野県：長野県史美術建築資料編 全 1 卷（二）建築、前掲
- ¹⁵ 重要文化財建造物保存技術協会：重要文化財旧田中家住宅修理工事報告書、昭和 48（1973）.12
- ¹⁶ 「重要文化財」編纂委員会：解説版新指定重要文化財 12 建造物Ⅱ、前掲
- ¹⁷ （財）文化財建造物保存技術協会：重要文化財植松家住宅修理工事報告書、昭和 49（1974）.8
- ¹⁸ 財団法人文化財建造物保存技術協会：重要文化財友田家住宅保存修理工事報告書、昭和 59（1984）.3
- ¹⁹ 「重要文化財」編纂委員会：解説版新指定重要文化財 12 建造物Ⅱ、前掲
- ²⁰ 滋賀県教育委員会：重要文化財辻家住宅表門他 2 棟（南倉前倉）修理工事報告書、昭和 59（1984）.11
- ²¹ （財）文化財建造物保存技術協会：重要文化財降井家書院修理工事報告書、昭和 52（1977）.12
- ²² （財）文化財建造物保存技術協会：重要文化財藤田家住宅保存修理工事報告書、昭和 53（1978）.9
- ²³ 平山：東京都と神奈川県における農家の移築棟数と地域性について、前掲
- ²⁴ 平山：全国における農家の移築棟数と地域性について、前掲
- ²⁵ 例えば、秋田県教育委員会：秋田県の民家 秋田県文化財調査報告書 27、昭和 48（1973）.3、4 頁
- ²⁶ 平山：全国における農家の移築棟数と地域性について、前掲
- ²⁷ 前掲：秋田県の民家 秋田県文化財調査報告書 27、4 頁
- ²⁸ 平山：東京都と神奈川県における移築民家における移築の理由、移築の移動距離、移築の行われた時代とその相互関係、前掲
- ²⁹ 平山：全国の移築民家における移築の行われた時代、移築の理由、移築の移動距離、移築までの期間とその相互関係、前掲
- ³⁰ 平山：東京都と神奈川県における移築民家における移築の理由、移築の移動距離、移築の行われた時代とその相互関係、前掲
- ³¹ 平山：全国の移築民家における移築の行われた時代、移築の理由、移築の移動距離、移築までの期間とその相互関係、前掲
- ³² 平山：東京都・神奈川県における移築民家における創建から移築までの期間について、2006 年度日本建築学会関東支部報告集、321～324 頁、平成 19 年（2007）.3
- ³³ 平山：全国の移築民家における移築の行われた時代、移築の理由、移築の移動距離、移築までの期間とその相互関係、前掲